



2024年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 株式会社丸山製作所 上場取引所 東
コード番号 6316 URL <https://www.maruyama.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 剛治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高取 亮 TEL 03-3252-2271
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	29,089	△1.4	1,096	△11.9	1,084	△12.6	681	△28.1
2023年9月期第3四半期	29,501	1.3	1,244	△14.2	1,240	△18.8	948	△10.4

(注) 包括利益 2024年9月期第3四半期 1,208百万円 (△16.2%) 2023年9月期第3四半期 1,442百万円 (60.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第3四半期	160.39	—
2023年9月期第3四半期	214.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第3四半期	39,869	20,023	49.8
2023年9月期	36,733	19,466	52.7

(参考) 自己資本 2024年9月期第3四半期 19,869百万円 2023年9月期 19,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	—	—	75.00	75.00
2024年9月期	—	—	—		
2024年9月期（予想）				85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	1.4	2,000	15.4	2,000	15.8	1,400	14.9	324.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	5,029,332株	2023年9月期	5,029,332株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	860,617株	2023年9月期	719,911株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	4,249,512株	2023年9月期3Q	4,421,832株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の解除による需要回復が一巡しつつあり、景気回復は緩やかな動きとなりました。しかしながら、地政学的緊張の高まりの長期化による資源やエネルギー価格の高騰、各国におけるインフレ抑制に向けた金融引き締めによる経済成長率の減速懸念及び為替相場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主力とする農林業用機械業界におきましては、国内では農業資材費及び原材料費の高騰に伴う価格改定の影響により、海外ではコロナ下における巣ごもり需要の反動減により、出荷・生産実績は減少しました。

このような状況の中、国内におきましては大規模区画農業への対応が可能なハイクリブーム「BSA-2000C」を全国的な展開へ向けて、各拠点に実演機を配置し、展示会への出展、実演を行うなど販路拡大を進めました。各エリアで実施される大規模展示会において、農作業中の安全確保や大型防除機の定期点検の啓蒙活動などを大々的に実施しました。また、ウルトラファインバブル市場拡大を目指し、農業や園芸などで手軽に使用できるウルトラファインバブル発生ノズル「TeQ SHOWER」を新発売したほか、洗浄効果が高く水温を下げた使用が可能な温水洗浄機、BtoC市場を意識したシャワーヘッド「habiller（アビリア）」の販売促進など、市場拡大のスピードを更に加速させました。海外におきましては、強みである大型防除機などの農林業用機械の北米、韓国及びインド市場への展開や、ウルトラファインバブル製品の新たな販路拡大を目指し、積極的な拡販活動を展開しました。

これらの結果、国内におきましては、工業用ポンプ及び洗浄機は減少しましたが、アグリ流通において大型防除機が増加した結果、国内売上高は21,654百万円（前年同四半期比2.1%増）となりました。また、海外におきましては、シェールオイル採掘用のポンプは増加しましたが、洗浄機向けが在庫過多もあり減少したことなどにより、北米及び欧州向けの工業用ポンプが減少しました。また、中南米向けの動力噴霧機や刈払機が減少したことなどにより、海外売上高は7,434百万円（前年同四半期比6.3%減）となり、当第3四半期連結累計期間の売上高合計は29,089百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

利益面では、トータルコストダウンの推進により原価率は低下しましたが、売上高の減少、積極的な営業活動の展開及び研究開発の推進に伴う販売費及び一般管理費の増加などにより、営業利益は1,096百万円（前年同四半期比11.9%減）、経常利益は1,084百万円（前年同四半期比12.6%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は681百万円（前年同四半期比28.1%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

① 農林業用機械

国内におきましては、アグリ流通において動力噴霧機は減少しましたが、大型防除機は増加しました。また、海外におきましては、中南米向けの動力噴霧機や刈払機が減少しました。その結果、国内外の農林業用機械の売上高合計は21,798百万円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は1,091百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

② 工業用機械

国内におきましては、工業用ポンプ及び洗浄機が減少しました。また、海外におきましても、北米及び欧州向けの工業用ポンプが減少しました。その結果、国内外の工業用機械の売上高合計は5,023百万円（前年同四半期比18.9%減）、営業利益は819百万円（前年同四半期比13.3%減）となりました。

③ その他の機械

消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は2,124百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益は110百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

④ 不動産賃貸他

不動産賃貸他の売上高は318百万円（前年同四半期比10.3%減）、営業利益は220百万円（前年同四半期比4.1%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は39,869百万円となり、前連結会計年度末より3,135百万円増加しました。これは、商品及び製品の増加(1,940百万円)、有形固定資産のその他(純額)に含まれる機械装置の増加(830百万円)、投資有価証券の増加(580百万円)などによるものであります。

負債総額は19,846百万円となり、前連結会計年度末より2,579百万円増加しました。これは、電子記録債務の減少(894百万円)はありましたが、短期借入金の増加(1,809百万円)、長期借入金の増加(568百万円)などによるものであります。

純資産総額は20,023百万円となり、前連結会計年度末より556百万円増加しました。これは、自己株式の増加に伴う減少(333百万円)はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどによる利益剰余金の増加(358百万円)、時価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加(471百万円)などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現状の課題に対して、トータルコストダウンの推進など売上総利益率の改善に向けた対策を講じており、事業環境も含め今後の状況を見極めていく必要があるため、前回予想(2023年11月14日)を修正しませんが、見直しが必要であると判断した時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,322	4,365
受取手形、売掛金及び契約資産	5,556	5,926
電子記録債権	2,257	2,167
有価証券	51	51
商品及び製品	5,969	7,909
仕掛品	329	480
原材料及び貯蔵品	2,590	2,420
その他	1,443	1,610
貸倒引当金	△5	△8
流動資産合計	22,515	24,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,780	3,782
土地	2,745	2,753
その他（純額）	2,710	3,150
有形固定資産合計	9,236	9,687
無形固定資産	83	67
投資その他の資産		
投資有価証券	3,744	4,325
退職給付に係る資産	667	656
その他	498	234
貸倒引当金	△13	△24
投資その他の資産合計	4,897	5,191
固定資産合計	14,218	14,946
資産合計	36,733	39,869

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,919	2,628
電子記録債務	6,041	5,147
短期借入金	4,336	6,147
1年内償還予定の社債	10	10
未払法人税等	139	280
賞与引当金	618	319
製品保証引当金	91	82
株主優待引当金	15	-
その他	1,828	2,509
流動負債合計	15,001	17,126
固定負債		
社債	30	20
長期借入金	609	1,177
退職給付に係る負債	7	7
資産除去債務	179	179
その他	1,439	1,335
固定負債合計	2,265	2,720
負債合計	17,267	19,846
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,489	4,499
利益剰余金	8,960	9,319
自己株式	△1,190	△1,524
株主資本合計	16,911	16,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,494	1,965
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	321	350
退職給付に係る調整累計額	636	608
その他の包括利益累計額合計	2,451	2,924
非支配株主持分	102	153
純資産合計	19,466	20,023
負債純資産合計	36,733	39,869

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上高	29,501	29,089
売上原価	21,922	21,228
売上総利益	7,578	7,861
販売費及び一般管理費	6,334	6,764
営業利益	1,244	1,096
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	75	94
その他	36	51
営業外収益合計	113	147
営業外費用		
支払利息	17	36
金融関係手数料	40	59
その他	58	63
営業外費用合計	116	159
経常利益	1,240	1,084
特別利益		
固定資産売却益	6	0
退職給付制度改定益	36	-
その他	0	-
特別利益合計	43	0
特別損失		
固定資産処分損	0	3
特別損失合計	0	3
税金等調整前四半期純利益	1,284	1,081
法人税等	302	345
四半期純利益	981	736
非支配株主に帰属する四半期純利益	33	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	948	681

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	981	736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	358	471
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	14	29
退職給付に係る調整額	88	△27
その他の包括利益合計	460	472
四半期包括利益	1,442	1,208
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,409	1,155
非支配株主に係る四半期包括利益	33	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	725百万円	796百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	21,191	6,191	1,974	11	29,369	—	29,369
一定期間にわたり移転される 財又はサービス	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	21,191	6,191	1,974	11	29,369	—	29,369
その他の収益	—	—	—	131	131	—	131
外部顧客への売上高	21,191	6,191	1,974	143	29,501	—	29,501
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	211	211	△211	—
計	21,191	6,191	1,974	354	29,712	△211	29,501
セグメント利益	1,267	944	95	212	2,519	△1,275	1,244

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	農林業用 機械	工業用 機械	その他の 機械	不動産 賃貸他	計		
売上高							
一時点で移転される財又は サービス	21,798	5,023	2,124	12	28,958	-	28,958
一定期間にわたり移転される 財又はサービス	-	-	-	-	-	-	-
顧客との契約から生じる収益	21,798	5,023	2,124	12	28,958	-	28,958
その他の収益	-	-	-	130	130	-	130
外部顧客への売上高	21,798	5,023	2,124	143	29,089	-	29,089
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	175	175	△175	-
計	21,798	5,023	2,124	318	29,264	△175	29,089
セグメント利益	1,091	819	110	220	2,241	△1,144	1,096

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。